

各市町村教育委員会教育長 様  
各市町村立小学校・中学校・高等学校長 様  
各県立特別支援学校・中学校・高等学校長 様  
各幼稚園・保育所長 様

埼玉県特別支援教育研究会  
会 長 山 田 明  
( 公 印 省 略 )

## 埼玉県特別支援教育研究会 第 58 回研究協議会草加大会 開催案内

- 1 研究主題 「 幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて 」
- 2 趣 旨 特別支援教育が新たにスタートして12年目を迎え、特別支援教育の推進は、特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校ではもちろんのこと、幼稚園、小・中学校、高等学校の全ての学校において、教育実践の重要な柱となってきている。この間、障害者の権利に関する条約が批准されるとともに、障害者差別解消法が施行され、共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システム構築の動きが加速している。各学校においては必要な幼児児童生徒に合理的配慮の提供が求められるとともに、ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善の取組が進められている。また、小・中学校の新学習指導要領の総則においては、特別支援学級や通級による指導における個別の指導計画等の全員作成、各教科等における学習上の困難に応じた指導の工夫が規定された。  
これらのことを踏まえ、私たちはより高い専門性を身に付けるとともに、子供たちが志をもち夢と自信に満ちて社会で活躍できるよう、自立に向けた指導・支援を推進する必要がある。  
そこで、標記の研究主題を掲げ、県内各小学校・中学校・高等学校・特別支援学校及び幼稚園等の先生方が教育実践を持ち寄り、研究協議・情報交換を通じて、特別な教育的支援の必要な幼児児童生徒に必要な指導・支援の在り方を模索するとともに、今後の県内の特別支援教育の一層の充実を図ろうとするものである。
- 3 参 加 者 幼稚園・保育所職員、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校職員、教育委員会特別支援教育担当者・指導主事、特別支援教育に関心のある方々 等
- 4 期 日 平成30年8月2日(木)
- 5 会 場 草加市文化会館 草加市松江1丁目1-5 (全体会)  
草加市立栄小学校 草加市松原1丁目3-2 (分科会)
- 6 主 催 埼玉県特別支援教育研究会
- 7 後 援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 草加市教育委員会
- 8 日 程

9:00	9:20	10:00	11:40	13:30	16:20
受付	全体会	特別講演	移動・昼食 (分科会打合せ12:15~)	分科会(全18分科会) 分科会ごとに閉会	

9 参加申し込み

添付の参加申込用紙を使用し、学校・勤務先毎にまとめてFAXにてお申し込みください。  
なお、以下のとおり申込先を分けていますので、申し込み先・FAX番号にお気を付けてください。

\*申し込み締め切り……7月10日(火)

<p><b>申込先① 幼稚園、保育所、小学校などに勤務している方</b> 草加市立 八幡小学校 内 草加大会参加受付担当 FAX 048-936-6294</p>
<p><b>申込先② 中学校、高等学校、特別支援学校などに勤務している方</b> 草加市立 青柳中学校 内 草加大会参加受付担当 FAX 048-936-4002</p>

10 参加費(資料代)500円(当日受付にて集金します。)

11 備考

- (1) 駐車場の用意はありません。公共交通機関にてお越しください。  
会場周辺の店舗等への駐車は厳に慎んでください。また、大会役員による周辺の有料駐車場への案内はいたしませんので、ご了承ください。
- (2) 大会の研究資料や研究協議の概要を記録した「草加大会報告集」を有償頒布します。購入希望者の方は、「大会参加申込書」の報告集申し込み欄にご記入ください。  
当日受付にて集金させていただきます(700円/1部)。当日受付にて追加申し込みも可能です。
- (3) 昼食は、草加市文化会館から栄小学校(徒歩15分程度)にかけ、多数の飲食店がありますので、移動を兼ねてご利用ください。なお、弁当を持参される方は、栄小学校をご利用ください。
- (4) 分科会会場は、小学校教室を使用しますので、【上履き・下足入袋】をご持参ください。
- (5) 開催中止の場合には、埼玉県特別支援教育研究会のホームページに掲載します。

本会は、埼玉県教委(教特第9号)さいたま市教委(教学特 第102号)により承認済みです。

**特別講演 10:00~11:30**

**「脳科学で読み解く：ペアレンティングで変わる発達障害」**

**講師 文教大学 教授 成田奈緒子 氏**

プロフィール

文教大学教育学部特別支援教育専修 教授

日本小児科学会認定小児科専門医・発達脳科学者 子育て科学アクシス 代表

1987年 神戸大学医学部卒業 医学博士 日本小児科学会認定小児科専門医  
1994~1998年 米国セントルイスワシントン大学医学部リサーチアソシエート  
1998~2000年 獨協医科大学越谷病院小児科 助手  
2000~2005年 筑波大学基礎医学系講師を歴任し、小児科の臨床と基礎研究に従事する。  
2005年~ 文教大学教育学部 特別支援教育専修 准教授  
2009年~ 同 教授 兼 茨城県発達障害者支援センターと茨城県土浦児童相談所の嘱託  
医等を兼任、牛久愛和病院小児科での専門外来も開設しており、小児期のさまざまな精神心  
理疾患の外来診療にも携わっている。2014年からは医学・心理・教育・福祉を包括した専  
門家集団による新たな親支援事業「子育て科学アクシス」を開設、代表に就任。また、文部  
科学省や東京都教育委員会などで子どもの生活習慣を科学的に考える育児、教育への提言・  
社会活動を行っている。

埼玉県特別支援教育研究会 第58回研究協議会 草加大会 分科会一覧 (6月8日現在)						
分科会 No	分科会名(上段)とテーマ(下段)	討議の柱	指導助言者(敬称略)	提案者	司会者	分科会 No
1	学校経営	○教職員の資質向上・人材育成	埼玉大学 教授 櫻井 康博	川口市立上青木小学校 校長 櫻井 秀子	川崎市立牛子小学校 校長 須田 亮	1
	共生社会の実現を目指した学校経営	○インクルーシブ教育システムを推進する学校経営	草加市立青柳小学校 前校長 益岡 和正	上尾市立中央小学校 校長 三角 正敏	上尾市立東小学校 校長 浅沼 正義	
2	特別支援教育コーディネーターの役割とセンターの機能	○合理的配慮・合意形成にかかる支援の在り方	埼玉大学 教授 尾崎 啓子	県立駒西特別支援学校 教諭 高野 幸恵	県立駒西特別支援学校 教諭 田沢 さやか	2
	校内資源や地域ネットワークを生かした支援と連携	○特別支援学校のセンター的機能の充実	県立秩父特別支援学校 教頭 西 聡	川越市立古谷小学校 教諭 嘉島 理恵	川越市立南古谷小学校 教諭 五十嵐 美樹	
3	幼児期の特別支援教育と幼保小の連携	○早期からの就学支援の在り方	発達支援教室ピロップ 代表 加藤 博之	草加市児童発達支援センターあおば学園 保育士 中村 耕一郎	草加市児童発達支援センターあおば学園 保育士 花岡 美香	3
	幼稚園や保育所における一人一人のニーズに応じた早期支援と就学支援	○保護者への支援と関係機関との連携の在り方	草加市教育委員会子ども教育連携推進室 室長 嶋田 弘之	学校法人横山学園新田幼稚園 前園長 柴 多美世	県立草加かがやき特別支援学校 教諭 浜田 正子	
4	各教科等を合わせた指導①(日常生活の指導・生活単元学習)	○基本的な生活習慣の確立に向けた指導	聖学院大学 教授 金谷 京子	県立草加かがやき特別支援学校 教諭 岩見 早希子	県立川口特別支援学校 教諭 鳥塚 健太	4
	一人一人の意欲や生活する力を育む日常生活の指導・生活単元学習	○地域や学校の特色を生かした学習展開の工夫	県立上尾かしの木特別支援学校 校長 小佐野 雅子	富士見市立諏訪小学校 教諭 小林 秀人	富士見市立鶴瀬小学校 教諭 三井 信子	
5	各教科等を合わせた指導②(作業学習)	○卒業後の職業生活につながる指導	文教大学 教授 小野里 美帆	越谷市立西中学校 教諭 太田 和樹	越谷市立大相模中学校 教諭 中根 慧	5
	一人一人の自立する力、働く力を育む作業学習	○地域や学校の特色を生かした作業学習	県立三郷特別支援学校 校長 羽山 史明	さいたま市立ひまわり特別支援学校 教諭 日下部 瞳	県立川越特別支援学校 教諭 佐藤 久美子	
6	教科別の指導①(小学校段階)	○資質・能力をバランスよく育成する指導	聖学院大学 特任教授 齋藤 一雄	県立大宮北特別支援学校 教諭 飯塚 瑠美	県立日高特別支援学校 教諭 長谷川 清	6
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○ICTを有効に活用した指導	さいたま市教育委員会 指導主事 米沢谷 将	寄居町立寄居小学校 教諭 朝比奈 貴	寄居町立桜沢小学校 教諭 柴宮 順子	
7	教科別の指導②(中学校段階)	○資質・能力をバランスよく育成する指導	星美学園短期大学 准教授 遠藤 愛	春日部市立武里中学校 教諭 石川 大樹	吉川市立美南小学校 教諭 宮本 絵美	7
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○ICTを有効に活用した指導	熊谷市立熊谷東中学校 校長 原口 政明	県立毛呂山特別支援学校 教諭 長塚 朋美	県立秩父特別支援学校 教諭 小澤 典子	
8	自立活動	○きめ細かな実態把握・評価に基づく指導計画	埼玉純真短期大学 教授 伊藤 道雄	県立川口特別支援学校 教諭 師岡 優太	県立和光南特別支援学校 教諭 親崎 惇司	8
	一人一人の教育的ニーズに応じ、豊かな生活を支援する自立活動	○困難さの背景に着目した指導	県立草加かがやき特別支援学校 校長 細谷 忠司	さいたま市立仲本小学校 教諭 成田 佳織	さいたま市立野本町小学校 教諭 森泉 清一	
9	通常の学級における児童生徒の支援と授業改善(小・中学校)	○合理的配慮に対応した学習環境整備と指導	埼玉大学 教授 長江 清和	深谷市立常盤小学校 教諭 明智 千穂	戸田市立笹目小学校 教諭 黒崎 正彦	9
	UDの視点を取り入れた発達障害のある児童生徒への指導と授業づくり	○すべての児童生徒に分かりやすい授業の工夫	さいたま市教育委員会 指導主事 稲吉 勝	川口市立里中学校 教諭 関口 希依	桶川市立桶川東小学校 教諭 金風 祐士	
10	高等学校における特別支援教育	○合理的配慮への対応とニーズに応じた指導	星美学園短期大学 専任講師 太田 研	県立けやき特別支援学校伊奈分校 教諭 石本 直巳	県立入間わかき高等特別支援学校 教諭 春木 美紀	10
	高等学校における特別支援教育の推進	○高等学校における通級による指導	県教育局県立学校部特別支援教育課 指導主事 新井 由美子	埼玉県立新座高等学校 教諭 グラス 万里子	県立特別支援学校さいたま桜高等学校 教諭 相川 賢樹	
11	通級による指導(発達障害・情緒障害)	○主体的に学ぶ意欲を伸長する指導	埼玉大学 准教授 名越 斉子	久喜市立本町小学校 教諭 金子 洋子	所沢市立泉小学校 教諭 坂本 條樹	11
	通級指導教室における発達障害・情緒障害のある児童生徒への指導	○在籍校・保護者・関係機関との連携の在り方	伊奈町教育委員会学校教育課 指導主事 安藤 咲恵	越谷市立光陽中学校 教諭 塚越 美和子	所沢市立中央中学校 教諭 渡部 奈央	
12	難聴・言語障害のある児童生徒への指導	○専門性を生かした指導	淑徳大学 特任教授 鈴木 克俊	寄居町立寄居小学校 教諭 齋藤 緑	所沢市立三ヶ島小学校 教諭 川口 亜希子	12
	難聴・言語障害のある児童生徒への指導	○在籍校・関係機関との連携の在り方	県立総合教育センター 主任指導主事 原田 篤	川口市立幸町小学校 教諭 磯貝 美真 教諭 鎌田 敏弘	久喜市立青葉小学校 教諭 佐藤 文代	
13	自閉症スペクトラムの児童生徒への指導	○自閉症スペクトラムの特性を生かした指導・支援の工夫	埼玉大学 准教授 山中 冴子	県立越谷西特別支援学校 教諭 高久 聖也	県立越谷西特別支援学校 教諭 近藤 新也	13
	知的障害と自閉症を併せ有する児童生徒への指導	○一人一人のニーズに応じた指導計画の作成	県立総合教育センター 指導主事兼副員 梶金 聡	さいたま市立与野西中学校 教諭 寺田 理衣	さいたま市立土呂中学校 教諭 田口 隆子	
14	重度・重複障害のある児童生徒の指導	○障害の特性等に応じた指導上の配慮の充実	埼玉大学 教授 細淵 富夫	県立熊谷特別支援学校 教諭 丹羽 史和	県立熊谷特別支援学校 教諭 新井 幸子	14
	重度・重複障害のある児童生徒の理解と支援及び医療との連携	○保護者・医療機関等との連携の在り方	県立越谷特別支援学校 校長 小池 浩次	県立蓮田特別支援学校 教諭 小林 知美	県立蓮田特別支援学校 教諭 植村 勇	
15	キャリア教育	○卒業後を見据えた一貫した指導・連携の在り方	東松山障害者就労支援センター 代表理事 若尾 勝己	県立入間わかき高等特別支援学校 教諭 杉田 由美	県立大宮北特別支援学校さいたま西分校 教諭 江袋 明	15
	社会に開かれた教育課程の編成とキャリア教育	○働く意欲を育むキャリア教育	県教育局県立学校部特別支援教育課 副参事兼副課長 八木 秀一郎	加須市立加須小学校 教諭 大出 美砂	加須市立花崎北小学校 教諭 吉田 高志	
16	交流及び共同学習	○豊かな心を育む交流及び共同学習	東京家政大学 教授 半澤 嘉博	県立三郷特別支援学校 教諭 渡邊 美香	県立三郷特別支援学校 教諭 伊賀 北斗	16
	豊かな関わり合いの中で共に学び合う交流及び共同学習	○異校種間における交流及び共同学習	県教育局県立学校部特別支援教育課 指導主事 坂口 勝信	寄居町立男衾中学校 教諭 川音 順子 小関 紀美	熊谷市立熊谷西小学校 教諭 杉浦 里奈	
17	健康・安全教育、障害者スポーツ	○障害特性に応じた防災・安全教育の在り方	埼玉県障害者スポーツ協会 副会長 重田 博	県立特別支援学校(体育部会)	県立特別支援学校(体育部会)	17
	生きる力を育む健康・安全教育と障害者スポーツの推進・余暇活動の充実	○健やかな心と体を育む指導の工夫	県立本庄特別支援学校 校長 山本 達也	県立特別支援学校塙保己一学園 教諭 松本 一輝	県立特別支援学校塙保己一学園 教諭 林 伸一 教諭 内藤 晴	
18	特別支援学級での授業づくり入門	○一人一人の教育的ニーズに応じた指導の工夫	埼玉大学教育学部附属特別支援教育臨床研究センター 専門相談員 高田 豊	戸田市立第一小学校 教諭 仲尾次 明美	戸田市立第一小学校 教諭 井上 博之	18
	特別支援学級における授業づくりと学級経営	○特別的教育課程の編成と学級経営の在り方	埼玉大学教育学部附属特別支援学校 副校長 神田 佳明	越谷市立大袋小学校 教諭 石川 有希	越谷市立大沢小学校 教諭 海老沼 幸子	

申込の際は、この面のみを指定の送付先へ FAX してください。送付票等は不要です。

## 埼玉県特別支援教育研究会第58回研究協議会草加大会 参加申込書

第58回研究協議会草加大会（平成30年8月2日）への参加を申し込みます。

申込日 平成30年 月 日

(フリガナ) 参加者氏名		参加 分科会	第	分科会
(フリガナ) 所属校名		報告集 申込み	する ( 部) しない	
所属校住所	〒			
所属校 電話・FAX	TEL	FAX		
※当日の交通手段	駐車場の用意はありません。公共交通機関をご利用ください。			

- \* 複数の参加希望の場合は、以下の欄にご記入ください。
- \* 参加希望者が5人以上の場合は、この用紙をコピーしてからお使いください。
- \* 参加費（資料代）（500 円）及び注文した草加大会報告集代（700 円）は、当日受付にて集金させていただきます。
- \* 昼食は各自でお願いします。

(フリガナ) 参加者氏名	参加分科会	報告集申込み
	第 分科会	する ( 部)・しない
	第 分科会	する ( 部)・しない
	第 分科会	する ( 部)・しない

\* 申し込み先は学校種別で異なります。以下の FAX でお願いいたします。

\* 申し込み先・FAX 番号お間違えのないよう御留意ください。

申し込み先① 幼稚園、保育所、小学校などに勤務している方  
草加市立 八幡小学校 内 草加大会参加受付担当  
**FAX 048-936-6294**

申し込み先② 中学校、高等学校、特別支援学校などに勤務している方  
草加市立 青柳中学校 内 草加大会参加受付担当  
**FAX 048-936-4002**

申し込み締め切り 平成30年7月10日（火）

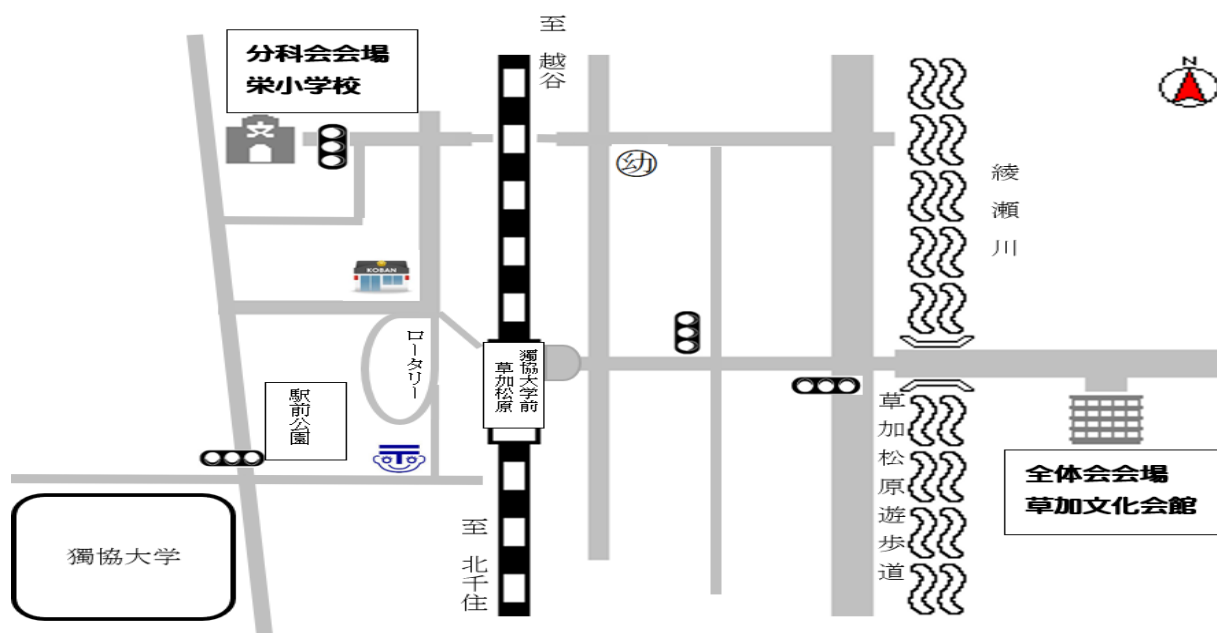
## 第58回研究協議会「草加大会報告集」

草加大会報告集（前払い700円／1部）を予約頒布します。

（予約した方は、当日、代金を受付にてお支払いください。）

- （1）全体会・特別講演会・分科会の報告のほか、各分科会での大学教授等指導者等の基礎講座の概要も掲載しますので、ぜひ「草加大会報告集」をお申し込みください。
- （2）参加申込書の「報告集申込み」欄の「する」に○をつけていただき、当日、前払い代金を受付にてお支払いください。
- （3）ご自身用だけでなく学校用にも申し込むなど複数の申込みをする場合には、「する」に○をつけて必要部数を記入してください。部数の記入がない場合は1部として受け付けます。
- （4）申し込んでいただいた「草加大会報告集」は、学校宛に送付します。

### 会場周辺図



- 全体会会場「草加市文化会館」 → 東武スカイツリーライン（東武伊勢崎線）  
獨協大学前<草加松原> 東口 徒歩約7分
- 分科会会場「草加市立栄小学校」 → 東武スカイツリーライン（東武伊勢崎線）  
獨協大学前<草加松原> 西口 徒歩約5分
- 昼食可能な飲食店は全体会会場から獨協大学駅の間、駅構内及び駅西口前に多数あります。